

防除所レポート [BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の状況について]

- ① 葉いもちの感染好適条件（BLASTAM¹⁾による）は、6月第3-4半旬に県内の広範囲で認められ、6月28日までの出現日数は平年よりやや多い（表）。
- ② 葉いもちの発病は、感染好適条件が出現した日から7～10日後に始まると考えられる。曇雨天が続く等、発病の好適条件が見られる場合はいもち病の発生に注意する。
- ③ 各地点のBLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の詳細については、病虫害防除所ホームページで情報を随時更新しているので参考にする。

1)BLASTAM：アメダスデータ4要素（気温、降水量、風速、日照）から、その日が葉いもちの感染に好適であったかを判定するプログラム。

表 BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の地域別の平均出現日数（6/1～6/28）

	県北	県央	鹿行	県南	県西
本年値	2.8	3.5	3.0	3.0	3.0
平年値	1.5	1.6	1.9	1.9	1.9

注) BLASTAMは、広域にいもち病が感染する時期を推定するシステムであり、特定地点の発生を予測するものではなく、周辺地点の感染好適条件の出現状況も併せて判断する。最寄りのアメダス地点で感染好適条件が出現していなくても、圃場によっては感染に好適な条件になっている場合もある

茨城県病虫害防除所
病虫害発生予報7月号（令和5年）より抜粋